

＜市内の市指定給水装置工事事業者＞

(地域別、50音順)

所在地		指定事業者名	電話番号
盛	沢川23-8	いわい設備	㊦9790
	東町13-12	㈱エルビー商会	㊦0050
	東町3-11	㈱カイハツ総合設備	㊦0888
	宇津野沢3-3	㈱盛水道電業社	㊦2138
	中道下2-26	東海プロパン㈱	㊦4121
	内ノ目2-6	㈱水野水道工業所	㊦2056
大船渡	明神前131-8	㈱伊藤水道工務店	㊦3643
	丸森93-3	㈱氏家プロパン	㊦2455
	野々田11-26	大船渡ガス㈱	㊦3155
	上平16-15	カネマル設備工業	㊦3002
	笹崎87-1	栗村住宅設備・サービス	㊦9316
	上平16-2	気仙郡漁業協同組合連合会	㊦1635
	下船渡10-14	㈱佐藤水道工業所	㊦3213
	上山5-1	さんわ管設	㊦4458
	永沢19-5	㈱三和水道工事店	㊦0813
	新田45-3	スガデン	㊦1814
	富沢6-1	㈱成翊光産業	㊦1121
	赤沢19-1	㈱東環	㊦7347
	茶屋前64-3	㈱フモトデンキ	㊦2991
	永沢19-5	㈱丸新工業	㊦3386
	砂森1-18	ミライフ東北㈱大船渡店	㊦7277
	新田36-17	㈱山岸水道	㊦8400
	茶屋前81-1	㈱八木又商店	㊦1778
	上山108-18	㈱気仙広域清掃	㊦9321
	峯岸149-9	㈱佐清分店	㊦3359
	鶴巻55-3	田畑設備工業	㊦2227
赤崎	永浜106-42	㈱齋藤鉄工	㊦3016
	石橋前3-3	只野商店	㊦4062
	跡浜50-16	㈱千葉ガス住設	㊦1331
	中井56-19	千葉住設	㊦1858
猪川	善蔵敷133-14	まるたつ㈱	㊦6679
	久名畑98-3	ライフ工業㈱	㊦3148
立根	中野69-1	いずみ電工㈱	㊦4167
	向田27-1	㈱宏和設備	㊦9611
	川原56-6	大槻設備	㊦0788
	川原18	吉田水道修理店	㊦2375
日頃市	中宿6-6	㈱新亀建設	㊦2254
	坂本沢112-3	㈱アドバンス・テック	㊦8810
綾里	大明神14-5	熊谷組㈱	㊦2258
	石浜38-5	中島設備	㊦2808
	大畑野18-1	亘理土木工業㈱	㊦2150
越喜来	所通46-1	及川設備	㊦2689
	所通125	坂本水道	㊦2231
	所通44-6	㈱平田ガス設備	㊦2029

水道管凍結事故を防ぐために

これからの季節は水道管の凍結にご注意を

毎年12月から3月にかけての冷え込みが厳しい時期、水道管の凍結事故が多発します。凍結すると、水が出なくなるだけでなく、修理代など思わぬ出費にもつながります。

次のようなときは、特に注意が必要です。

・旅行などで家を留守にするなど、しばらく水道を使用しないとき

・真冬日（最高気温が氷点下の日）が続いたとき

・天気予報で「低温注意報」が発表されたとき

※「屋外で露出している」「北向きで日陰にある」「風当たりが強いところにある」水道管は、常に凍結しやすい状態です。

水道管などの

凍結防止対策

①「水抜き栓」による水道管の水抜き

「水抜き栓」は、水道管を凍

結させないように水道管の水を抜くための装置で、電動式とハンドル式があります。普段から水抜き栓の場所と動作の確認をしておきましょう。

▽電動式の操作方法

操作盤は、台所、洗面所、玄関などの壁面にあります。水抜きパネルの電源が「ON」になっていることを確認し、水抜きボタンを押します。その後、全ての蛇口を開けて水が出なくなることを確認します。

再び使い始めるときは、全ての蛇口が閉じていることを確認してから通水ボタンを押します。

▽ハンドル式の操作方法

水抜き栓のハンドルを右に止まるまで回します（上下式は、引き上げます）。その後、全ての蛇口を開けて水が出なくなることを確認します。屋外の蛇口も忘れずに水抜きを行ってください。電熱線ヒーターで凍結防止をしている場合でも、

水道事業の現状と課題

水道事業の現状

本市では、重要なライフラインである水道事業について、昭和29年の開始以降給水区域の拡張に努めてきました。

しかし、人口減少社会を迎え利用者が減る一方で、老朽化した管路・施設の更新費用は増加しており、水道事業を取り巻く経営環境は年々厳しくなっているのが現状です。また、近年は日本の気候が著しく変動しており、豪雨による土砂災害などで水道も大きな被害を受ける危険性が高まっています。

水道事業の抱える課題

水道事業は、税金などを主な財源とする市の一般会計とは別に、水道を使用される皆さんからの料金収入

を主な財源とした「独立採算制」による会計処理をしています。

しかし、次の要因により、その経営状況は決して楽観できない状況にあります。

①料金収入の基礎となる人口が減少傾向にあり、毎年、1％程度の減少が続いています。

②市内に張り巡らされている水道管や浄水場などの施設の老朽化が進み、計画的な更新が必要となっています。

③平成23年の東日本大震災による被災施設の復旧事業を国庫補助事業（災害復旧事業）として優先して進めています。水道会計からの一部負担が生じています。

なお、水道の復旧事業は土地区画整理事業など主たる事業計画に合わせ行っているため、独自の計画が立てにくい状況となっています。

④立根・日頃市地区の未給水区域を解消するために、浄水場や配水管の整備工事を、継続して実施する必要があります。

このように、水道事業における必要な施設整備は進めなければなりません。この財源となる企業債（借入金）も大幅に増加する見通しであり、将来的にはその返済が経営への負担となることは明らかな状況です。受益者負担の原則を前提に、水道利用者が徐々に減少していく中で、水道事業を存続させていかなければならないのです。

水道水の安全と確実な給水体制を持続させていくためには、適正水準の利益の確保が必要です。今後、経営状況の悪化に至った場合には、料金の適正化を図るための料金改定は避けては通れない課題です。

今後も、水道事業の健全経営のために努力してまいります。市民の皆さんにも水道事業の現状について、ご理解をお願いします。

水道管を破裂させてしまった場合

まず、水抜き栓を閉めてください。次に、応急処置として、破裂した部分にタオルやビニールテープなどをしっかりと巻き付け、市指定の給水装置工事事業者（左表のとおり）に修理を依頼してください。

また、温水器や給湯器（ボイラー）などの修理は、購入した業者に直接依頼してください。

水道管を凍結させてしまった場合

保温材などは取り外し、露出している水道管や蛇口にタオルを巻き付け、上から「ぬるま湯」をゆっくりかけてください。



②水道管の保温

露出している水道管は、発泡スチロール製の保温材や布類を巻いて防寒し、その上から水にぬれないようにビニールテープを巻いてください。保温材はホームセンターなどで購入できます。

③メーターボックス内の保温

メーターを保護するために、発泡スチロールや布類をビニール袋に入れ、メーターボックス内に入れてください。そのとき、必ずメーターが見えるようにしてください。

蛇口などに直接熱湯をかけたり、直火をあてたりすると、破裂や火災の危険があります。また、余熱を利用する利点もあるので、タオルは必ずかぶせてください。



ぬるま湯＝○
熱湯＝×
(破壊する危険があります)